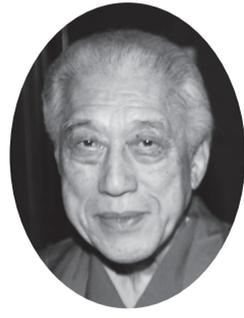


内閣総理大臣顕彰受賞

内閣総理大臣顕彰が発表され、本学園から次の先生が受賞しました。

半世紀以上にわたり、日本文化の精神を世界に広め、茶道を通じた国際文化交流や国際平和の発展に尽力したことにより、顕彰され、内閣府による内閣総理大臣顕彰式が四月二十日(木)、首相官邸にて行われました。



聖徳大学
客員教授
千玄室 先生

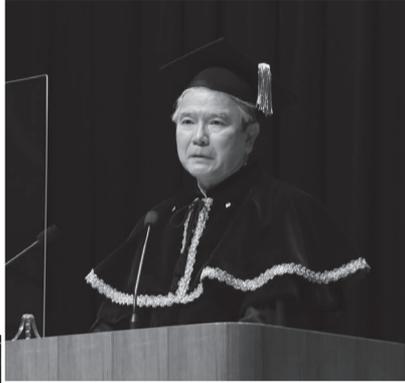
令和五年度 入学式を挙行

聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部



四月一日(土)、本学体育館にて、令和五年度聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部の入学式を挙行しました。

当日、フォーマルスーツに身を包んだ千二百二名の入学生は、晴れやかな笑顔でこれから始まる新生活への期待を胸に、聖徳大学の門をくぐりました。今年度は保護者の方にも大学に超越いただき、式の様子を別の会場からご覧いただきました。



学長告辞において川並弘純学長は「皆さんには、これから得る知識を組み合わせて自分なりの考えを見出し、決断するなどをして、自分でも気付かなかった無限の可能性を切り開いていただきたい」と思います。それぞれの夢を実現させるために、失敗を恐れず、多くのことにチャレンジをし、自分磨きをしていってください。皆さまの活躍を期待しています」とエールを送りました。



入学式閉式後、新入生は各教室に移動してクラスアワーを行いました。担任の

四月三日(月)から五日(水)にかけては、所属の学部学科に分かれてオリエンテーションを受けました。また、五日(水)から十八日(火)の間、学部学科別に宿泊でのFC(Freshmen Camp)が行われ、建学の精神を理解するとともに、大学での学びのスタイルを身につけ、相互の信頼関係をさらに深めることができました。

大学における行事もコロナ以前に戻りつつあり、徐々に活気が戻ってきています。

光英VERITAS中学校二年 片野 貫一朗 君

PGM世界ジュニアゴルフ選手権大会 出場決定!

四月十五日(土)・十六日(日)、茨城県美浦ゴルフ倶楽部で開催された、二〇二三年PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会東日本決勝戦において、ゴルフ部中学二年生の片野貫一朗君が二日間トータル一五一ストロークで準優勝し、七月にアメリカ・カリフォル



ニア州サンディエゴで開催される世界大会十三歳以下四歳カテゴリーの日本代表選手に選出されました。今後の活躍を期待しています。

令和五年度 SOA オープニングセレモニー

四月二十二日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂を会場に、令和五年度聖徳大学オープンアカデミー(SOA)オープニングセレモニーを開催しました。SOAオープニングセレモニーは、SOA公開講座新年度の恒例行事であり、十九回目となる今年度は百六十八名の来場がありました。



初めに、川並弘純学長による主催者代表挨拶があり、続く表彰式では、総合修了者が表彰されました。

SOA公開講座では、平成四年の開設時より独自の単位制度を採用し、所定の単位数を修得された方々を総合修了者として表彰しています。今年度の六名を加

参加者はとくに主観的健康観を維持するためには、睡眠・食事・運動・人との交流を基本とし、できることを継続していくことが大切であるというお話に高い関心を示していました。SOA会員にとどまらず、広く市民の皆さまにとつて関心の高いテーマであり、参加者からは満足度の高い感想が多く寄せられました。

え、累計で百二十一名となりました。

続いて看護学部水戸美津子学部長を講師として「健康とケアの視点から人生一〇〇年時代を考える」というテーマで講演がありました。

参加者はとくに主観的健康観を維持するためには、睡眠・食事・運動・人との交流を基本とし、できることを継続していくことが大切であるというお話に高い関心を示していました。

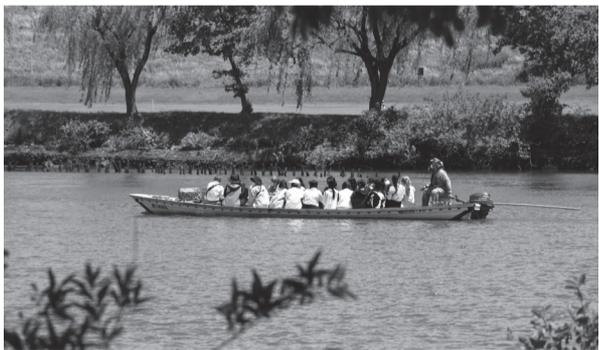


総合修了者として表彰された3名

「SEITOKUチャレンジDAY」を開催

五月九日(火)、大学、短期大学の一年生を対象とした「SEITOKUチャレンジDAY」を開催しました。

四月に実施したFC(Freshmen Camp)の一環としており、「これから自分達が通う大学のある松戸を調べ、好きになる」事をテーマとしています。各クラス五、六名のグループに分かれ、歩きを中心とし、松戸キャンパスまたは松戸中央公園からゴールとなる柴又へと向かうプログラムです。グループ活動を通して企画力やリーダーシップ力を高め、仲間との信頼関係を築きながら、チームとしての一体感、達成感を得ることを目的としています。



当日は晴天に恵まれ、五月の心地よい気候の中、それぞれ出発しました。

例年多く企画に入る戸定邸や松戸神社、矢切の渡し

の他、今年は松戸南部市場、二十世紀公園なども企画にありました。

プログラム終了後の学生からは「企画から写真撮影

など自分達で計画し、ゴールできた達成感を感じるとともにチームワーク力を磨くことができた」「町の人に声をかけられて、観光名所について説明してもらって嬉しかったです」「チームワーク力が前よりも格段に上がったと思います」

「今回チャレンジDAYでバリアフリーを見つけた事と街の人にあいさつすることを心がけました。チームの皆で協力して無事問題なく到着することができたのでよかったです」などの感想が聞かれ、それぞれ目標を達成したようでした。

学生は皆、思い思いの時間を過ごし、仲間との交流も含め、実りあるチャレンジDAYとなりました。

FC (Freshmen Camp) 文学部 文学

『帝国ホテル(二泊二日)で学ぶ 一流のセンスとマナー』を開催!

四月十日(月)～十一日(火)、FC (Freshmen Camp) 『帝国ホテル(二泊二日)で学ぶ一流のセンスとマナー』を実施しました。FCに新しい学びの形を取り入れて、新入生のためのプレミアムRE科目として開催しました。(RE: Reality Experience: 「人生におけるとても貴重な本質的体験」を講義として形づくる科目という意味)

初日は①将来のキャリア計画、②印象の良い話し方の着こなし方、④美しいスーツでのウォーキング、⑤フルコースのテーブルマナーなどを学び、終了は九時を超えていました。五名の教員や指導役が入れ替わるかなりハードな初日となりました。



二日目は文学部らしく文豪達の足跡や江戸の歴史、皇居、日比谷 銀座周辺を巡見する四コースを学生のグループごとに選択して、オリエンテーリングを行いました。友人たちと語りながらの楽しいオリエンテーリングとなりました。ポイントごとに文学部の教員が

待っていて、グループ写真を撮って楽しいひと時になったようです。参加した新入生からは、文学部の伝統となった、学生からさまざまな声を聞く「授業提案制度」により実現されたこの度の貴重な体験への感謝のことばや、後輩たちにも同じような「楽し



く「美しい」体験をしてもらいたいこと、改善点として「こうした方がもっと良くなる、もっと楽しく学べる」などの多くの声がありました。これらの課題については文学部の先生方と知恵を出し合って、来年度に向けてさらに改善していきます。

FC (Freshmen Camp) 教育学部 教育

箱根Freshmen Camp』行ってきました

四月六日(木)～八日(土)、四年ぶりに富士箱根ランドにおいてFC (Freshmen Camp)を実施しました。

初日はあいにくの雨模様でしたが、全員が集合時間に揃い予定通りにバスが発行されました。ホテル到着後は開講式が行われ、学生は学部長・学科長の講話を真剣に聞き入ってメモを取っていました。その後、各コースに分かれて講義が行われ、教師像や人間像についての講義により学生たちは四年後の姿を各自で思

い描いていました。二日目は、学科全体で子どもの体力低下問題の講義が行われ、その後、体育館で長なわとびや大きなボールを用いたグループで競うキンボールというユニースポーツを体験しました。教員から説明を受けながら体験して、子どもたちへの具体的な指導法を実践しました。午後には、模擬授業によるノートの取り方を学



び、高校と大学での授業の違いを実感していました。また、これからの学生生活で頑張りたいことや不安なことを模造紙にまとめて発表したり、障害を持つ人でも参加が可能なスポーツであるボッチャの体験を行いました。三日目は、彫刻の森美術館を見学しました。幸い天気にも恵まれて学生たちは屋内外の様々な美術品に触れることで新たな教養を学んでいる姿が見られました。この研修で四年間の学びを理解し、コースやクラスを超えて親睦を深めることができたことで、各自が自信を持って学生生活を歩んでいける内容となりました。

FC (Freshmen Camp) 人間栄養学部 人間栄養学科

四年ぶりにFCを実施しました

四月十七日(月)～十八日(火)、富士箱根ランドでFC (Freshmen Camp)を実施しました。この研修の目的は、建学の精神「和を理解し、自己の学習スタイルを確立すること、そして四年間ともに過ごす友人との信頼関係を深めること」にあります。

一日目は、人間栄養学科の学びについて、九名の先生が講話をしました。それぞれの専門分野の研究と体験を通して、管理栄養士に必要な知識や経験がどのようにつけてゆくのかが、「学習



(五)六名のグループがメンバーを変えてディスカッションをする方法)による自己紹介と自由討論を行いました。クラスを越えて多くの友人との出合いの場となりました。夕食後は、「この研修で学んだこと・得たこと」を一人一人がレポートにまとめました。二日目は、小田原市にある鈴廣かまぼこ博物館を見学しました。博物館ではかまぼこやちくわの製造工程を



かまぼこ博物館にある「かまぼこの科学」コーナー

近くで見学することができ、「かまぼこの科学」コーナーでは、おいしさの秘密や栄養についても学ぶことができました。見学後の昼食は、かまぼこづくしの料理をいただき、お土産にも、もちろん「かまぼこ」を購入して、研修を終えることができました。

FC (Freshmen Camp) 心理・福祉学部 社会福祉学科

「ふところかるた」で仲間意識を深めました

四月十三日(木)から十五日(土)、社会福祉学科は長野県佐久市にあるセミナーハウス「かすがの森」において、FC (Freshmen Camp)を実施しました。

本研修は「建学の精神『和』を理解し、互いを尊重する関わりについて学ぶ」[大学での学びの転換(ラーニング・トランジション)をはかる]ことを目的としています。三日間の研修では、建学の精神を理解するため、川並弘純学長の講話から始まり、人間関係を構築する

ために必要な共感的態度を身につける「ふところかるた」を用いて学生同士の仲間意識を強めることができました。そして、大学生に求められる主体的な学びに必要な不可欠な課題発見力を高めるため、学科の先生方の研究内容を紹介したうえで、自身を取り巻く社会環境から課題を抽出するワークにチャレンジしました。

最終日は、世界遺産である富岡製糸場を見学し、女性の社会進出の先駆けである本工場における労働環境や福利厚生、暮らしを知る

ことができました。

「ふところかるた」で仲間意識を深めました

コロナ禍を経て三年ぶりのFCでしたが、学生からは「仲間との親睦を深めることや、将来どんな人になりたいのか考えるきっかけになった研修でした。楽しかったです」等の声がきかれました。学生にとって、今後の大学生活への期待が



グループワークで「ふところかるた」にチャレンジ

一般社団法人日本ピアノ調律師協会主催 第二十四回 新人演奏会

五月一日(月)、東京文化会館において、日本ピアノ調律師協会主催「第二十四回新人演奏会」が開催されました。この演奏会は、音楽大学や音楽学部から選ばれた優秀な卒業生が学びの成果を披露することができ、演奏会です。そして、世界各国の著名なアーティスト



(左)大久保琉乃さん、(右)森島英子教授

トによる名演奏が数々繰り広げられた音楽の殿堂、東京文化会館で演奏することは、若い音楽家たちにとっても夢舞台であります。今回、本学音楽学部から選ばれて、夢舞台で演奏したのは、演奏学科ピアノ専修最後の卒業生、大久保琉乃さんでした。大久保さん



五月十日(水)、学生食堂「リュミエール」がリニューアルしました。この度のリニューアルにあたり、流山市に本店を置く食パン専門店「麥乃」が出店することになりました。オープン当日は開店前に多くの学生が行列を成して待つ

学生食堂「リュミエール」が リニューアルオープン！ 食パン専門店「麥乃」

いました。店内にはプレミアム食パンと書かれている「内麦食パン」をはじめ焼き立ての総菜パン、菓子パンが並びます。食パンにたっぷりの卵を挟んだたまごサンドや、フルーツと生クリームを挟んだサンドイッチは見た目も楽しめる一品です。パン以外にも、サラダや日替わりスープがあり栄養バランスを考えてメニューを選ぶことができます。学生たちが楽しくランチタイムを過ごせる場所が新たに増え、さらにキャンパス内に活気が戻ってきました。



COVID-19は、 五類になっても油断大敵です。

保健センター 所長 宮川 三平

新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)の発生から、今年(二〇二三年)で四年目に入りました。しかしながら、日本においては、なお第九波の感染拡大が心配されております。なぜ日本は、欧米に比べてCOVID-19の感染の収束がゆっくりで、感染拡大が心配されているのでしょうか?それは、私たち日本人が、欧米に比べてCOVID-19に自然に感染された方の割合が欧米に比べて少ないからです。ちなみに日本人の四〇%程度が感染

していることが、COVID-19のIgG抗体の結果より明らかとなっております。(欧米の抗体保有率は、六〇〜八〇%位です。確かにCOVID-19は、発生当初から比べまして、重症化のリスクと致死率(亡くなる方の比率)は、減りました。しかしながら、軽症から中等症の治療薬の開発がまだまだ不十分な現在、お年を召された方、病気を患っている方などは、なお細心の注意が必要です。また、第九波の主流となるオミクロン変異株は、XBBで、COV

I D-19予防ワクチンの免疫を逃れる(オミクロン対応ワクチン接種しても罹ってしまう)ことが心配されております。従いまして、これらの心配な方々のオミクロン対応二価ワクチンの追加接種を早めに行うことと同時に、他の方がリスクの高い方にお移ししないよう、特にリスクに高い方との接触時に、不織布マスクを着用すること、換気心がけることなどの感染対策が望まれます。

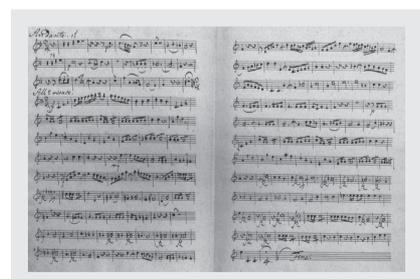
(所長 宮川 三平)

特別展覧会 聖徳学園創立90周年記念 聖徳学園所蔵名品展

東京聖徳学園は、昭和8(1933)年、東京市大森区(現大田区)新井宿に聖徳家政学院と新井宿幼稚園を開設し、本年で創立九十周年になります。学園は創立者、川並香順・孝子両先生と、その後を引き継いだ川並弘昭先生により、一貫して幼稚園から大学院に至るまでの幼児教育と女性教育に力を注ぎ今日に至りました。学園創立九十周年を記念し、本学の所蔵コレクションの中から貴重な名品を特別に公開することになりました。藤田嗣治の作品、大和絵の画風で描かれた奈良絵本・絵巻、著名作曲家の自筆楽譜、重要無形文化財保持者が制作した陶磁器から、名品を展示公開します。



奈良絵本・絵巻《敦盛絵巻》江戸時代前期



フランツ・シューベルト《マニフィカート》ハ長調 第2オーボエのパート譜(D.486)



十三代 今泉今右衛門《色鍋島桐絵皆具》

令和5年度 聖徳大学 香和会 行事予定

第56回 香和会総会 日程 **9月17日(日)** 場所 聖徳大学 三田キャンパス(予定)

支部交流会 日程予定一覧

<p>北陸・上信越支部/甲州・中部・東海支部 [合同開催]</p> <p>日程 8月27日(日) 12:00~14:00 場所 聖徳大学 10号館13階「SPANCA」</p> <p style="font-size: small;">※11:00~ 大学キャンパスの見学</p>	<p>北海道・東北支部</p> <p>日程 10月1日(日) 14:00~16:00 場所 仙台ガーデンパレス 3階コンベンションルーム</p>
<p>北関東支部</p> <p>日程 10月29日(日) 13:00~15:00 場所 大宮パレスホテル 2階「端麟」</p>	<p>南関東支部</p> <p>日程 10月9日(月・祝) 12:30~14:30 場所 聖徳大学 8号館3階「アミティエ」</p>
<p>近畿・中国・四国支部</p> <p>日程 12月9日(土) 12:00~ 場所 ホテル阪急インターナショナル 2階「春蘭門」</p>	<p>九州・沖縄支部</p> <p>日程 11月4日(土) 12:00~ 場所 ホテルJALシティ那覇 1階「ボナベティ」</p>

(お問い合わせ) 聖徳大学 香和会
TEL/FAX: 047-366-5084
E-mail: kouwakai@wa.seitoku.ac.jp

時節柄、中止や変更があります。HPでご確認ください。 www.seitoku-kouwakai.com

令和5年4月1日[土] ~ 11月30日[木] 午前9時~午後5時

聖徳博物館

聖徳大学 1号館8階 休館日: 日曜日・祝日・学事日程による

募金だより

「聖徳学園創立九十周年記念募金」寄付者芳名一覧

- 取引業者関係
有限会社
セイワコーポレーション 様
二〇〇,〇〇〇円
- ひじり会関係
ひじり会 様
一五,〇〇〇,〇〇〇円
- 光英VERITAS
中学校・高等学校関係
一,七九四,三二〇円
光英VERITAS
中学校・高等学校後援会 様

(五,〇〇〇,〇〇〇円)
匿名希望者合計

●合計 四一,七九四,三二〇円
●累計 四一,七九四,三二〇円

「聖徳教育芸術振興募金」寄付者芳名一覧

- 取引業者関係
ご芳名のみ報告
株式会社竹中工務店 様
●法人役員関係
川並 弘純 様
(三,二七〇,〇〇〇円)
- 大学後援会関係
一〇,〇〇〇円
高橋 政勝 様
●ひじり会関係
近内 愛子 様
五〇〇,〇〇〇円
高橋 博子 様
(一,〇〇〇,〇〇〇円)
- 教職員関係
三〇〇,〇〇〇円
山本 真理子 様
(三六〇,〇〇〇円)

三,〇〇〇円
金子 清美 様
(九九,〇〇〇円)

上坂 真奈美 様
(九五,〇〇〇円)
小林 真樹子 様
(五八,〇〇〇円)
南地 礼智 様
(三三,〇〇〇円)

(九二,〇〇〇円)
匿名希望者合計

●合計 一,四五四,〇〇〇円
●累計 六〇九件一七四,一七一,七五二円

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覧

- 香和会関係
三,〇〇〇円
山本 真理子 様
(三二,〇〇〇円)
- 匿名希望者合計
(一〇〇,〇〇〇円)

●合計 一〇三,〇〇〇円
●累計 四七件 三五,四三七,五〇〇円



寄付のご案内 HP

●お申し込み・お問い合わせ先
東京聖徳学園 募金課 TEL:047-395-1111(代)
ホームページアドレス <https://seitoku-u.ac.jp/donation/>

聖徳 募金 検索

幼児教育専門学校

令和五年度 入学式

四月九日(日)、三田キャンパス新校舎三階ホールに於いて、聖徳大学幼児教育専門学校の入学式を挙行了しました。

保育科第一部三十五名、第二部八名、合計四十三名の新生が、新しい校舎で学校生活のスタートを切りました。

川並弘純学園長の告辞では、「子どもたちにとって、幼児教育者、保育者は最初の外のひととの接触になる。



まさしく真つ白な子どもたちの心に色を付けていく仕事であること、皆さん方の成長のために限りのない応援をし、一人ひとりが持っている長所や能力を伸ばしていく努力をしていきます。自らが限界を引いてしまう心が成長を妨げるものでありと念頭においてくださ」と激励されました。

川並順校長の式辞では、「自ら限界をつくらず、無限の可能性を信じて幼児教育者、保育者になる夢を叶えるためにがんばってほしい」と話されました。

閉式後は、新生や保護者、川並学園長、川並校長、担任、副担任一同での記念写真撮影がありました。期待に胸を膨らませた新生の笑顔がとて眩しかったです。

令和五年度 聖徳フレッシュアップデー

四月十五日(土)、「聖徳フレッシュアップデー」を実施しました。これまでの「聖徳フレンドシップデー」から、全員で気持ち切り替えて新しくスタートする思いを込めて「聖徳フレッシュアップデー」と名称を新しくしました。この行事は、「聖徳教育II」の一つとして全学年が参加して行われます。

その目的は、新生と在校生が交流を通して互いの学びの意欲を高めることであり、また卒業生の話を聞くこと

で、各々が卒業までの見通しをもつことにあります。開会式では、学園歌を四年ぶりに全学生で斉唱することができました。前半は、「在校生のためのキャリア支援」をテーマに、都内の保育園に勤務している社会人三年目の卒業生が講演しました。在校生は、卒業生が二部生として必死になって勉強をしていた当時の話や、現在は園長をしながらも一人ひとりの乳幼児の支援に取り組んでいる話を真剣に

聞き入っていました。後半は、一部生と二部生に分かれて異学年交流会を実施しました。上級生によるピアノ演奏の後、グループごとに交流会が行われました。新生は、授業、実習行事など学校生活を続けていく上で必要なアドバイスを熱心に聞いていました。学生からは「上級生、新生、先生方と顔を合わせる機会があることで、今後の学校生活が楽しくなり、様々なことを相談しやすくなる」と感じたり、「二年間頑張ろう」という気持ちを新たにすることができた」という声が聞かれました。



聞き入っていました。後半は、一部生と二部生

光英VERITAS中学校・高等学校

中学校第三回入学式

四月十日(月)、光英VERITAS中学校第三回入学式が川並弘純学園長、小笠原流礼法宗家小笠原敬承斎先生ご臨席のもと、厳粛に挙行了しました。

中学校新生百八名(男五十三名、女五十五名)は真新しい制服に身を包み、葉の緑が目立ち始めた校に見守られながら新しい学校生活のスタートをしました。

川並芳純校長より入学を許可された新生は、これから始まる学校生活に大きな期待を感じたことと思います。校長式辞の中で、建学の精神「和」について述べられました。以下掲載致します。

「人類は、歴史の中で多くの争いを経験してきましたが、その争いを見てみると、双方が『自分こそが正しい』と言って争っていることに気づきます。しかし、私たちは、そこに誤解や嘘、迷信や思い込みなどが横たわっていて、それを解くことで真理に気づき、争いが収まることも見てきました。中略」皆さんがこれから学ぶことは、もちろん根拠のない迷信や裏付けのない思い込みではありません。『真理』を求める崇高な営みから導き出された英知の結晶です。しかし、完成された真理とは言えません。さらに高い次元での真理を導き出すのは皆さんです。」と真理を導く力を高め、光り輝く人になると同時に、建学の精神「和」を体現できる人になれるようにと、これからのべき姿を示唆されました。

高等学校第三回入学式

高等学校第三回入学式を中学校と合同で挙行了しました。

た。真新しい制服に身を包んだ新生百十五名は笑顔で輝かせながら新しい学園生活をスタートしました。

川並弘純学園長より「探究学習を通して素晴らしい未来を築くとともにより良い学園生活を送ってほしい」と告辞がありました。川並芳純校長より「生徒の、生徒による、生徒のための学校」



「挨拶は心を開く魔法の言葉」「心は一人では磨けない」「形に残る学習をしよう」「汗して体を鍛えよう」という心に響く言葉をいただきました。四年生(高校一年生)の生活目標は「熱意を習慣化しよう」です。これは、詩人オヴィディウスの「熱意は習慣化する」という言葉から考えました。「熱心に学ぶ姿勢はやがて習慣として定着する」という意味の通り、百十五名の新生が、日頃の学習や部活動に全力で取り組みることにより、三年間の高校生活を有意義なものにしていくことを願っています。生徒一人ひとりが楽しい学園生活を送れるよう祈っています。



取手聖徳女子高等学校

吹奏楽部 第三十四回定期演奏会

三月二十一日(火・祝)、牛久中央生涯学習センター文化ホールにて、吹奏楽部定期演奏会を開催しました。「新入生登校日」が日中に行われ、入部予定の十名の中学三年生も、先輩たちに合流し、デビューを飾る日にもなりました。



三年前は中止、昨年と一昨年は入場制限を設けての開催と、新型コロナウイルス感染症流行のために演奏会は翻弄され続けましたが、幸い今年には制限なしの

開催となりました。準備段階でその喜びを大いに噛みしめていたものの、「部員四十名ほどの演奏会にどれくらいの来場者を迎えられるか」という課題にも向き合う日々が続きました。しかし、そのような不安は開催当日、一瞬にして消されました。客席には、座り切れな

高大連携授業

「ビジネスフイールドリルンケージ」

昨年度、大学にて始まった聖徳教養教育のひとつである、ビジネスフイールドリルンケージ(BFL)の授業が高大連携授業として四月八日(土)からスタートしました。

は、生涯忘れられないものとなりました。

演奏会終了後は多くの来場者から励ましや感謝に満ちた言葉の花束が寄せられ、部員・顧問にとっては確実に、さらなる躍進に向けての大きな原動力となりました。



これは、本校の総合的な探究の時間「聖徳プロジェクト」の一環として、聖徳大学の開設授業科目であるBFLの講義「現代社会のビジネスリテラシー」を二年生全員が聖徳大学に出向き受講するものです。大学生と共に受講することにより、高校の授業科目よりも実践的な角度で現代社会の課題に取り組みます。

味を持つことができた」「やりたくないことでも自分事だと思つてやってみると成長につながる」と聞き、今度から実践してみようと思つた。将来やりたいことは決まっていますが、そのために何を現実させればよいかなどは考えたことがなかった。「大学生と話した際、将来や実現していたのがすごいと気付いた」などの感想が寄せられました。

附属小学校

英語学習はモチベーション持続が課題

貴重な海外修学旅行の経験を通じて成長につなげていくか?そのヒントを得ようと、五年生の春休み(三月二十二日(水)から二十六日(日)まで)に、シンガポール修学旅行を経験した、今の六年生たち



「日本との違いを学べてよかったです。例えばシンガポールは水が足りないのので貯水

池が多かったり、地震がなかったりすることです」「シンガポールの文化について学びました。例えばシンガポールには、インド人、マレー人、中国人などの人種が多く、いろいろな文化の一つの国で体験できるのが特徴です」とシンガポールの土地や人々に着目し、改めて日本について考えられたようです。

また、「南洋小学校での交流会の時、あやとりや折り紙を教えました。相手が分からないので、もつと英語を勉強したいと思いました」「これからは英単語を覚えたり海外の人とふれ合ったりして英



語力を高めて、楽しく会話ができたらいいなと思いましたが」と英語で伝えることのもどかしさを実感し、日頃の英語学習を振り返るきっかけ

「明和班」とは、一年生から六年生までが混ざった縦割り班です。最初はよそよそしい雰囲気のある班もありましたが、顔合わせを終えると、すっかり打ち解けた様子になって

「遊びを考えると、苦勞間がかりました」と、苦勞話

「明和班顔合わせ」あたらしい仲間ができました

四月十四日(金)、「明和班」の顔合わせが行われました。この日は、一年生から六年生までが混ざった縦割り班です。最初はよそよそしい雰囲気のある班もありましたが、顔合わせを終えると、すっかり打ち解けた様子になっていました。



「遊びを考えると、苦勞間がかりました」と、苦勞話

幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

いろいろな遊びに挑戦!

今年度、聖徳大学三田幼稚園は新園舎になりました。新しいプレイジムや砂場、ブランコがある園庭遊具や、室内では新たに遊戯室やこども図書館ができました。



をしたり、大鼓橋にチャレンジしたり、ブランコの前では「順番にやろう」と言いながら遊ぶ園児たちの姿が見られます。年少組は初めて幼稚園で不安のために泣いている園児も、園庭での遊びを促すと、満面の笑みに変わり「幼稚園って楽しい」「砂場って楽しい」という表情が見られるようになっていきます。

「砂場で遊ぶよ」と言っている園児たちや、鉄棒で前回り

室内では、広い遊戯室で巧技台を組み合わせてサーキット遊びをしたり、初めての木製積み木で四角や三角などいろいろな形を組み合わせた様子が見られます。「大きな積み木、一緒に持つていこうかあ」と、試行錯誤しながら遊ぶことが一番人気です。また、年長組にとってはこども図書館も人気です。園児たちは、友達

聖徳大学八王子幼稚園 週五日間の給食が始まりました

四月十七日(月)から給食が始まりました。今年度より、給食が週五日間となり、さらに献立が聖徳大学にある幼稚園の七園で共通となりました。いろいろな食材やフルーツ等を取り入れた献立に園児たちは大喜びです。「今日の給食は何?」「給食楽しみ」と言いながら登園してきます。また、保護者の方からも好評をいただいております。



日頃から給食だね!「楽しんだよ」「給食大好き」と、口々に話していました。サラダにはカリフラワーが入っており、「これ何?」「初めて食べたよ」「美味しかったよ」と、初めての食材に興味をもち、「食べてみよう!」という意欲が持てるようになってきました。幼稚園での給食を通して、さまざまな食材に興味を持ち、教員の励ましや友達の影響で苦手な食べ物も一口でも口にすることで、卒園時まで好き嫌い無く何でも食べられるように成長していきます。園児たちにとって、給食の時間は楽しく大好きな時間になっています。



聖徳大学多摩幼稚園

みんなであそびましょう！親子親睦会

四月十九日(水)、幼稚園において「親子親睦会」を開催しました。年に三回行われる保育参観の他に、入園・進級してから少し新しい生活に慣れてきた頃に「親子親睦会」を行っています。子どもたちは保護者と幼稚園で遊べるこの日をとても楽しみにしていて「今日はお母さん遊びに来る日？」と毎日確認するほど、心待ちにしています。

この親睦会では親子で遊ぶことだけでなく、クラスとの親睦を図ることも目的としています。新入園児がいるクラスでは簡単な自己紹介を兼ねたゲームやリズム遊びをして、親子共に新しい友達作りの機会となりました。その他に動物のお面をつけたゲームや、保護者だけで行うエスカレーターじゃんけんや、ぶーぶーゲームをして楽しく過ごしました。

新入園児にとっては初めての幼稚園生活であり、進級園児にとっても子どもの様子を心配している保護者にも多い時期ですが、保護者に、子どもたちが先生や友達と関わりながら過ごしている様子を見てもらうことで、不安を取り除くことができる機会となりました。



聖徳大学附属幼稚園

みつげよう！絵の秘密・なんでだろう？不思議な科学あそび

聖徳学園九十周年を記念した特別展覧会「飛鳥童が描く海の生き物たち」が開催中の四月二十二日(土)に作者である飛鳥童画伯の来校にあわせ、年長松組の希望者を対象にギャラリー「つ」が開催され、附属、第二、浦安幼稚園の六組の家族が参加しました。

飛鳥童画伯は園児たちへ絵をじっくりと見ながら「夕方になるとお日様はどこに行くのだろう？」と語りかけます。どうしてだろう？何でだろう？から生まれた絵本を描きつけかけと、さらに「夕日を海に沈めたらどうなるかな？」「次の絵につながる生き物はどこに隠れているかな？」と種明かしの様な様々なエピソードに園児も保護者も引き込



まれます。描かれた動物たちが生きてるのは、画伯の探求心と本物の動物との出会いがあり、リアルに表現されているのだと理解できました。その後、子ども図書館へ移動し、博物館の学芸員と一緒に「ちょっと不思議な科学遊び」を体験しました。空気砲や水に沈む魚、風で浮く大きなサイコロな

ど、自ら感じた不思議さや面白さに園児たちの目はまん丸釘付け。専門的な難しい言葉はわからないけれども、魔法がかかったような楽しい実験はあつという間でした。好奇心や小さな気づきが今後の「もっと知りたい」という探求心の種となり、そして自ら学ぼうとする力を育むのだと感銘を受けたイベントでした。



聖徳大学附属第二幼稚園

お花がいっぱい

入園式・進級式には、たくさんのお花を飾って園児や保護者の方をお迎えしました。初めての幼稚園で不安を感じながら登園する親子の中には、園内の花を見て「きれいだね」と、不安な顔から笑顔に変わり会話する姿もあり植物がもたらす優しい力を感じました。

はじめ教職員が日々大切に育てています。季節の花を植えたり、樽に田んぼを作ったり、稲を育てたり、ミニトマトやキュウリなどの野菜を育てるなど、園児と一緒に成長を楽しみながら育てられる環境を整えています。五歳児松組は、各家庭から植木鉢を持参し、アサガオを種から育てます。毎日水をあげてその成長過程を観察し、絵を描いて記録に残します。



今年も砂場にある藤棚には、紫色の小さな藤の花が満開になりました。砂場遊びをしている園児は、上を見上げて、「うわーすごいね」と紫色の屋根のようになっている藤棚を見て、目を丸くする様子もありました。「きれいなお花だね」「たくさん咲いてうれしいね」と、花を見て感じる思いの広がりや、豊かな感性や表現力へと繋がります。また、落ちた花びらを集めて



は、紫の小さな藤の花が満開になりました。砂場遊びをしている園児は、上を見上げて、「うわーすごいね」と紫色の屋根のようになっている藤棚を見て、目を丸くする様子もありました。「きれいなお花だね」「たくさん咲いてうれしいね」と、花を見て感じる思いの広がりや、豊かな感性や表現力へと繋がります。また、落ちた花びらを集めて

聖徳大学附属浦安幼稚園

四年ぶりの春の親子遠足

四月二十一日(金)、コロナ禍で三年間実施できなかった「春の親子遠足」を四年ぶりに実施し、浦安市総合公園にあるニコニコ広場へ行きました。当日は少し汗ばむぐらいの晴天となり、春の自然に親しみ、友だちや先生、家族の方々と楽しく過ごしました。遠足では、保護者同士の交流を深め、親睦をはかる、公衆道徳を守り、集団行動をとる事をねらいとしています。



聖徳大学附属成田幼稚園 新緑の中を歩いたよ 成田山公園への親子遠足

四月四日(火)に入園・進級してから二週間が経ち、園児たちも新しい生活に慣れ、友達や先生と楽しく遊べるようになりました。保護者は、初めての集団生活、新しい環境、新しい先生や友達への不安を感じながら子どもを幼稚園に預けているかと思われま

いきました。そこで、保護者同士の交流も図れるよう、成田山公園への親子遠足を行ないました。遠足当日の四月二十日



(木)は、四月とは思えないほどの日差しがたつぷり注ぎ、公園内の木々の緑がキラキラ輝いていました。新緑の中を親子で手をつなぎながら歩く親子の会話を楽しむだけでなく、同じクラスの保護者や友達との会話を楽しくしていました。公園内の広場では、自己紹介を行いクラスの友達を知りきっかけとなりました。これから、新型コロナウイルスの生活が始まります。幼稚園での活動や行事の開催方法もだいぶコロナ前に戻ってきました。園児たちが楽しみ、親子で共通の楽しい思い出がつけられるようにしてまいります。



た。五歳児松組はリレーごっこをしました。楽しく盛り上がり潮風に吹かれながら張り切って走っていました。四歳児梅組は、長縄を飛び越えたり、縄をつなげて電車に見立てたりして先生と一緒に集団で遊んでいました。三歳児桜組、満三歳児パンダ組は、フアンニートンネルくぐりをして遊びました。中には母親から離れられず遊べなかったり、抱っこされたままの園児もいましたが、親子で楽しむ様子が見られました。短い時間でしたが、先生や、クラスの友達と笑顔で遊び、交流を持てた楽しい親子遠足となりました。これからも新型コロナウイルスを継続して行いながら、保育やいろいろな行事に取り組み楽しい園生活を送れるように配慮してまいります。

第56回 SEITOKU夏期保育大学7月22日(土)開催

SEITOKU夏期保育大学は、幼稚園教諭、保育士、保育に関心のある皆さまを対象として毎年夏に開催している恒例行事です。今年は「保育の多様性を考える」を総合テーマに、作曲家の青島広志先生によるご講演のあとに、現場で役立つ11テーマの分科会を予定しています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

〈総合テーマ〉保育の多様性を考える

- 日時：令和5年7月22日(土) 10時30分～16時15分
- 場所：聖徳大学松戸キャンパス(松戸駅東口から徒歩5分)
- 受講料：一般:5,000円 本学卒業生:4,000円 本学在学学生:2,500円(通信生含む)
- 定員：500名 ※定員になり次第、締切とさせていただきます。

全体会 10:50▶12:10 [講演] 歌いたい世界のこどもの歌

講師
ピアノ・お話し
作曲家
青島 広志先生



日本では世界的に見ても、きわめて珍しい「子どものための歌」の宝庫です。保育・教育にこれを用いない手はありません。しかし、そのためには指導者、歌い手、ピアニストに技術や知識が必要で、そのためには昭和までの、そうした歌をとり上げ、許されるなら皆さんと歌い、これからの生活に役立てましょう。コロナで「歌う文化」が少なくなった今こそ、私たちに必要なことだと思うからです。

●講師プロフィール：
1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程(作曲)を首席で修了。修了作品のオペラ「黄金の国」(原作:遠藤周作)が大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(原作:手塚治虫)、「黒蜥蜴」(原作:三島由紀夫)など、これまでに作曲した作品は300曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も50年を超え、コンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。テレビ朝日「題名のない音楽会」、日本テレビ「世界一受けたい授業」などに出演。他にもイラストや書籍執筆などの仕事を数多く手がけている。元東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学客員教授。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇協会会員。

共演者
小野 勉さん



●共演者プロフィール：
歌を始めたのは、都立八潮高校在学中から。レコード会社でCD制作を手掛けながら演奏活動を続ける。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。童謡からオペラアリアまで幅広いレパートリーを持つ。青島広志氏プロデュースの舞台に多数出演する。代表作には「ペールギュントの大冒険」「青い鳥」「幸福な王子」「大好きドラキュラ君」などがある。オーケストラとの共演も多く、さまざまな場所に歌声を提供している。

資料請求 問い合わせ 〒271-0092 千葉県松戸市松戸1169 聖徳大学10号館 聖徳大学生涯学習課 Tel. 047-365-3601(直通) 聖徳大学生涯学習課 検索 URL <https://www.seitoku.jp/soa/>

分科会 13:30▶16:15 現場で役立つ11のテーマ

分科会	13:30▶16:15	現場で役立つ11のテーマ	[講師]
第1分科会	共に生きる多文化保育 外国にルーツのある子どもたちを支援するための保育を考えます。	聖徳大学教育学部 児童学科教授 聖徳大学短期大学部 保育科准教授	森 貞美 キム ミンジ
第2分科会	幼児英語を学ぶ 幼稚園や保育所で使える簡単な英語表現を学びます。子どもや保護者との会話に役立てましょう。(英検3級以上レベル対象)	聖徳大学 語学教育センター教授	ピーター・ヴィンセント
第3分科会	子どものコミュニケーション力を高めるには(心理学) 楽しく友だちと遊べるコミュニケーション力について学びましょう。	聖徳大学短期大学部 保育科教授	鈴木 由美
第4分科会	多様化する保護者のニーズに対応するために(保護者支援) 多様化する保護者のニーズに対応するための心理とその支援を学びます。	聖徳大学教育学部 児童学科教授	沢崎 真史
第5分科会	多様な子どもとともに育ちあうとは ～インクルーシブ保育を考える～ 多様な子どもが育ちあう保育を一緒に考えていきましょう。	聖徳大学大学院 教職研究科教授	腰川 一恵
第6分科会	遊びを通して学ぶ子どもたち ～幼児教育の基本を見直そう～ 環境を通して行う保育の大切さやおもしろさを、実践を通して考えましょう。	聖徳大学大学院 教職研究科教授	河合 優子
第7分科会	演じて遊ぶ～人形劇の世界～ ペットボトルを再利用して楽しいしかけの人形を作ります。	聖徳大学短期大学部 保育科准教授	掃守 純一郎
第8分科会	今、どうして、自然遊びが重要なのか ～環境教育の視点から考える～ 幼児期のおわりまでに育てたい10の姿のひとつに、「自然との関わり・生命尊重」が掲げられた真の意味をとらえる内容です。	聖徳大学教育学部 児童学科准教授	神谷 明宏
第9分科会	身体を使って遊ぶ ～運動あそびリズムあそび～ 子どもの興味・関心を高める運動遊びや、身体表現を楽しく指導するために、動きの基礎理論と教材理解を基に実践を通して学びます。	聖徳大学教育学部 児童学科教授 聖徳大学教育学部 児童学科専任講師	安広 美智子 井上 文子
第10分科会	楽しい食育のアイデア 食育や食の悩みをグループワークなどを通して、一緒に考えていきましょう。	聖徳大学教育学部 児童学科准教授	祓川 摩有
第11分科会	子どものためのART鑑賞 ～ART作品に触れよう～ いろいろなARTの楽しみ方を鑑賞から学びます。	聖徳大学教育学部 教育学科准教授	西園 政史

学校説明会関係行事のご案内

※6月から8月までの予定です。詳細及び9月以降の予定につきましては、各校にお問い合わせください。

■聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ:0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス 大学・短期大学開催
▶6月4日[日] 10:30～13:00 ▶7月2日[日] 10:30～15:00 ▶8月6日[日] 10:30～15:00
▶6月18日[日] 10:30～15:00 ▶7月17日[日・祝] 10:30～15:00 ▶8月20日[日] 10:30～15:00

出張オープンキャンパス
宮城県 仙台会場 ▶6月11日[日] 10:30～14:30 石川県 金沢会場 ▶7月23日[日] 10:30～14:30
▶7月23日[日] 10:30～14:30 長野県 長野会場 ▶7月30日[日] 10:30～14:30
福島県 郡山会場 ▶7月22日[土] 10:30～14:30 静岡県 静岡会場 ▶8月26日[土] 10:30～14:30
新潟県 新潟会場 ▶7月9日[日] 10:30～14:30 沖縄県 那覇会場 ▶6月25日[日] 12:30～15:30

教育学部 児童学科・教育学部 オープンキャンパス
▶6月4日[日] 13:00～15:00 ▶6月10日[土] 13:00～15:00 ▶7月29日[土] 13:00～15:00

■通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ:047-365-1200(直通)

来校型入学説明会【予約制】
▶6月11日[日] 13:00～15:30(受付12:30～15:00) 会場:松戸キャンパス

オンライン入学説明会【予約制】
【入学説明会】
▶7月16日[日] ▶8月13日[日]
▶9月10日[日] ▶10月1日[日]
各日 13:00～13:45
【公認心理師入学説明会】
▶6月24日[土] ▶7月30日[日] ▶8月20日[日] ▶9月10日[日]
13:00～14:10 ▶10月1日[日] 各日11:00～12:15
【社会福祉士・精神保健福祉士入学説明会】
▶7月16日[日] 11:00～12:10

オンライン入学個別相談【予約制】
▶6月3日[土] ▶6月25日[日] ▶7月9日[日] ▶8月6日[日] ▶9月24日[日]
▶6月4日[日] ▶7月1日[土] ▶7月15日[土] ▶9月2日[土] ▶10月7日[土]
▶6月17日[土] ▶7月2日[土] ▶7月22日[土] ▶9月3日[日] ▶10月14日[土]
▶6月18日[日] ▶7月8日[土] ▶8月5日[土] ▶9月17日[日] ▶9月23日[土・祝] 各日 10:00～15:00

ホームページ(入学説明会ページ)よりご予約ください。 <https://tk.seitoku-u.ac.jp/event>

■聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ:03-5476-8811(代)

オープンキャンパス
▶6月11日[日] ▶8月5日[土] ▶6月3日[土] ▶7月1日[土] ▶8月19日[土]
▶6月25日[日] ▶8月19日[土] ▶6月11日[日] ▶7月22日[土] ▶8月26日[土]
▶7月15日[土] ▶8月26日[土] ▶6月18日[日] ▶7月29日[土] ▶6月25日[日] ▶8月5日[土]
▶7月29日[土] 各日 10:00～

個別相談会
▶6月3日[土] ▶7月1日[土] ▶8月19日[土]
▶6月11日[日] ▶7月22日[土] ▶8月26日[土]
▶6月18日[日] ▶7月29日[土] ▶6月25日[日] ▶8月5日[土]
▶6月25日[日] 各日 10:00～

入試説明会
▶6月3日[土] ▶7月22日[土] ▶6月1日[木] ▶6月29日[木] ▶8月3日[木]
▶6月18日[日] ▶8月18日[金] ▶6月8日[木] ▶7月13日[木] ▶7月3日[木]
▶7月1日[土] 各日 10:00～

■聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ:047-392-3111(代)

学校説明会【予約制】
▶6月17日[土] 10:00～11:30
【系列幼稚園対象】入試説明会【予約制】
▶7月8日[土] 10:00～11:30

わくわくオープンスクール【予約制】
▶7月22日[土] 10:00～12:05 ▶8月19日[土] 10:00～12:05
入試説明会【予約制】
▶8月26日[土] 10:00～11:30

読者の声

ご意見・ご感想の宛先
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただき、ありがとうございます。
今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) <https://www.seitoku-u.ac.jp/inquiry/>

学校法人 東京聖徳学園 聖徳フラッシュ 第126号
発行人/川並弘純 編集/総務課
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代) 23.6.1 ret (14.7)

■光英VERITAS中学校・高等学校(共学) ●お問い合わせ:0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会
▶6月10日[土] 9:30～11:30 ▶6月17日[土] 9:30～11:30
▶6月24日[土] 9:30～11:30

オープンスクール
▶7月16日[日] 9:30～11:30 ▶7月22日[日] 9:30～11:30
▶8月6日[日] 9:30～11:30 ▶8月11日[金・祝] 9:30～11:30
▶8月27日[日] 9:30～11:30 ▶8月26日[日] 13:30～15:30

部活動見学会
中学校・高等学校
▶6月17日[土] 14:00～

■聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 ●お問い合わせ:0297-83-8111(代)

学校説明会 兼 吹奏楽コース説明会
▶6月17日[土] 9:30～11:30 ▶7月8日[土] 9:30～11:30
吹奏楽部体験会
▶6月17日[土] 13:30～16:30

夏の学校見学会
▶7月23日[日] 午前 ▶8月6日[日] 午前 ▶8月19日[土] 午前

音楽科・レッスンシリーズ
▶6月24日[土] 8:40～12:30 ▶7月15日[土] 8:40～12:30 ▶8月26日[土] 8:40～12:30

令和5年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

開催日	時間	場所
6月 3日(土)	13:00	北海道支部総会・保護者会 札幌:札幌グランドホテル
9月 3日(日)	12:30	新潟地区支部総会・保護者会 長岡:ホテルニューオータニ長岡
9月 10日(日)	12:30	甲信地区支部総会・保護者会 長野:ホテル国際21
10月 1日(日)	12:30	東北(北)支部総会・保護者会 仙台:仙台ガーデンパレス
10月 8日(日)	12:30	東北(南)支部総会・保護者会 郡山:ビューホテルアネックス
10月 15日(日)	12:30	静岡県支部総会・保護者会 静岡:ホテルアソシア静岡
10月 22日(日)	12:30	東京地区・茨城県支部総会・保護者会(合同開催) 聖徳大学
10月 29日(日)	12:30	北関東支部総会・保護者会 大宮:JA共済埼玉ビル
11月 5日(日)	12:30	九州・沖縄地区支部総会・保護者会 那覇:ホテルJALシティ那覇
11月 26日(日)	12:30	千葉県支部総会・保護者会 聖徳大学

森と湖のヒーリングリゾート 山中湖ガーデンヴィラ

期間限定オープン 7/14～9/24のご宿泊まで



山梨県南都留郡山中湖村平野506-96
TEL.0555-62-3111

山中湖は真夏も過ごしやすい日々が続きます。湖畔でのアクティビティに加え、サマーイベントも盛り沢山。富士山登山にも最適です。避暑地の休日をぜひ山中湖ガーデンヴィラでお過ごしください。

学園料金 1泊無料朝食付 大人6,500円～
(10名様以上グループプランは6,000円～)

詳細はホームページでご確認ください。
山中湖ガーデンヴィラ 検索
<https://www.yamanakako-garden.com>
インターネット宿泊予約受付中

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください
セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20 0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913